

平素より美作岡山道路の建設推進にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
今年3月から行っていた基準点・水準測量が8月に終わり、引き続き9月から地形測量を開始します。

地域の懸案となっている内水対策などの話し合いを具体的に進めさせていただくためにも、土地や水路の高さなどを詳細に測量し、道路計画や内水対策について、より正確な情報を皆様にお示しすることが必要であると考えています。

地形測量では、昨年の意向確認により、ご協力の意向をお示しいただいた方の土地についてのみ立ち入りを行い、実測します。

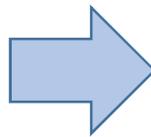
地形測量

地形測量は、道路計画を行うために、必要となる詳細な図面を作成するため、基準点・水準測量を基に現地を実測し、平面図を作成する作業です。

○航空写真を基に作成した平面図(例)
現在の計画図と同じ 1/2500

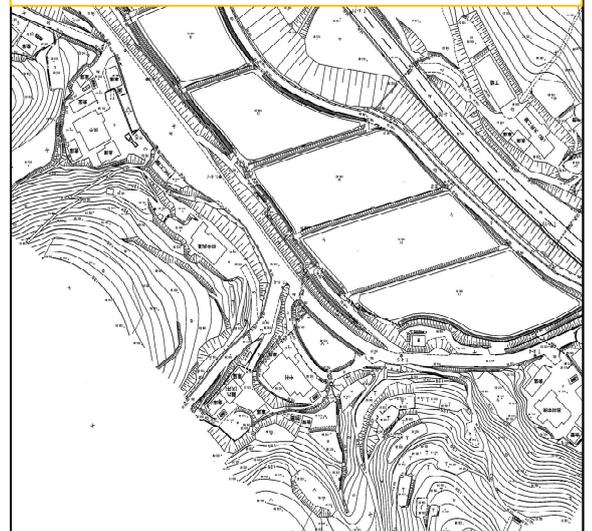


* 1/2500を右記図面範囲まで拡大(イメージ図)



田や水路の高さ、地下構造物を実測することで、詳細な検討が可能となります。

○地形測量を行った上で作成した平面図(例)
実測平面図 1/500



* 1/500で実測(イメージ図)

地形測量業務委託業者

フジテクノ有限会社 岡山県津山市田熊1786-3
TEL: (0868) 29-2714
担当: 安藤



岡山県マスコット ももっち・うらっちと仲間たち

地形測量業務の工程

地形測量では、現地調査及び地形測量時に土地の立ち入りを行います。現地調査は平成30年9月中旬頃より開始し、地形測量は下記の予定で実施しますので、ご協力をお願いします。

【測量作業予定表】測量期間:平成30年9月中旬頃～平成30年12月28日

業務項目	9月			10月			11月			12月		
	10	20	31	10	20	30	10	20	31	10	20	30
現地調査												
地形測量												
資料整理												

平成30年8月16日に「高規格道路をみんなで考える会」から下記の公開質問状が提出されました。この公開質問状に対する回答については、改めて「美岡だより」でお知らせします。

平成 30 年 8 月 吉日

岡山県知事
伊原木 隆太 様

高規格道路をみんなで考える会
会長 延原 悟
電話 086-954-0265

高規格道路「美作岡山道路」の建設にあたり、飯岡地区に示された現在のルートは「内水災害の危険性がある」と訴えてきましたが、貴職はその危険性を認めず「内水は町道までとし、ポンプ排水で対応できる」と説明してきました。

しかし、今年7月6日（金）の西日本豪雨により「飯岡地区の内水は町道を超え県道にまで」及びました。この事は、私たちが訴えてきたことが事実であったと証明されたというであり、「内水はポンプ排水で対応できる」とした岡山県の説明の前提条件が崩れたことを意味します。この事実から、次の公開質問をいたします。

公 開 質 問 状

↓写真については、回答時に掲載します

- ① 7月7日（土）午前6時の内水状況を撮影した写真を事実と認めますか。
- ② 「内水は町道まで」と説明してきたが、「内水が県道まで」きている事実から、従来の道路計画に見落としがあったと認めますか。
- ③ 「内水が県道まで」きている事実から、高規格道路「美作岡山道路」を計画通りに建設した場合、県道周辺の民家に浸水被害が及ぶ可能性があることを認めますか。
- ④ 「過去に経験したことのない豪雨」「生命に危険が及ぶ豪雨」と言った、想定することさえ難しく激しい自然災害が起こる時代に、人為的な「ポンプ排水で浸水を防ぐことができる」と想定することが責任ある道路行政であると考えますか。
- ⑤ 私たちは、「住民の生命や暮らしに危険性が及ぶ公共工事」はするべきではないと考えますが「住民の生命や暮らしに危険性が及んでも現ルートに固執」するなら、その理由は何ですか。
- ⑥ 現在、岡山県が現在提示しているルートは「岡山県が考える最適ルート案」であり、最適の根拠は「経済性」と「施工性」と説明してきましたが、「経済性」と「施工性」にこだわらなければ他の最適ルートも考えられるわけです。この度「住民の安全性」を考慮せざるを得ない事実が生じたのですから、「住民の安全性」を考慮して「最適ルート案」を再考する必要があると考えるがどうか。